

2024
Vol.36
(Summer)

看護大から こんにちは

CONTENTS

学長・学部長メッセージ	1
新任教員紹介	2～3
大学祭活動報告	4
卒業生からのメッセージ	5
サークル紹介	6
公式SNS紹介	7

令和6年度 宮崎県立看護大学入学式



学長メッセージ

挨拶に笑顔添えて

学長 長鶴 美佐子



この4月、大学をよくするために「どんな些細なこと、小さなことでもいいあなたなりの取組やチャレンジを！」と教職員にリクエストしました。かくいう私のチャレンジは「すれ違う全学生への挨拶」です。学内ですれ違う全学生に、自分から挨拶をするようにしたのです。黙って通り過ぎようとしていた学生も「はっ」として挨拶を返してくれます。学生との小さな交流を楽しむ時の私の顔は自然と笑顔になります。そうすると学生もニコッと笑顔を返してくれるのです。なんと気持ちがいいのでしょうか！笑顔が相手の笑顔を生みだします。そして、その笑顔は「暗くなったので気をつけてね」「はい、先生も！」という相手を思いやるコミュニケーションへと発展します。「たかが挨拶、されど挨拶」です。笑顔の交流がある挨拶は、双方の心をより一層温かくしてくれます。このような挨拶が学生や教職員の気持ちだけでなく、大学全体の雰囲気を変える一歩になると確信しています。



新入生へのメッセージ

学部長 小野 美奈子

4月に第28期生を迎え、大学は活気があふれています。学部長と新入生との最初の出会いは入学式直後の教務ガイダンスです。本稿では、ガイダンスで学部長から新入生に伝えているメッセージを紹介します。

まず「大学で学ぶとは」です。大学での学びは、高校までの「学習」とは異なり、主体的に学び、深く学問を理解し身につけることの意味を持つ「学修」という言葉を使います。このような学びは、専攻する学問「看護学」にとってとても強みとなる学び方になります。なぜなら、自律した自己学修により、専門分野の高度な知識、判断力・応用力を身につけることができ、質の高い看護の実践につながるからです。主体的な学びが大学で学ぶことの本質であることを意識しつつ学んでください。

次に「28期生で入学するとは」です。2,400人を超える卒業生が県内外で活躍しており、折に触れ先輩たちの実践を聞く機会や交流の機会を設けています。先輩たちの姿を参考に、10年後、20年後自分はどのようにありたいのか、自己のキャリアデザインを描きながら学びを進めてください。

最後に「県立の大学で学ぶとは」です。看護大の学生は県民にとって財産であり、宮崎の健康課題を解決してくれる人材としての期待があります。そのため、多様な実習施設や地域活動の機会を惜しみなく提供していただいています。地域の人々の生活に触れる実践的な学びの機会を積極的に活用し、宮崎の地に愛着を持ちながら4年間を過ごしてほしいと思います。

以上のメッセージが学生たちに伝わり、充実した大学生活を送ってくれることを願っています。

新 任 教 員 紹 介

NEW FACULTY INTRODUCTION



普遍分野(人間社会と看護) 教授 岩江 荘介

本年4月より、宮崎大学から本学に移ってまいりました。宮大では、臨床研究支援センターという部署で、研究倫理支援に従事してまいりました。本学では、普遍分野(人間社会と看護)の教員として、「人間社会と規範」「健康支援と社会保障制度Ⅰ」「社会学入門」などの科目を担当いたします。

患者さんに寄り添った良質なケアを提供するためには、その人柄だけでなく、置かれた立場なども理解する必要があります。それには、世の中の仕組み、時代の流れや社会現象の背景など、教養を身に付ける必要があります。また、世の中を知れば知るほど、視野が広がり、人生を切り拓く選択肢も増えてきます。

一緒に考え成長しましょう。



専門基礎分野(看護人間学Ⅱ) 講師 加藤 沙弥佳

これまで、精神看護の分野で臨床経験を積み、看護教育、研究に携わってまいりました。精神専門看護師として活動する中で、こころの健康を保つことの大切さと難しさを実感しています。宮崎県立看護大学の自然豊かな環境で、自分のこころの健康を保ちながら仕事をさせていただけることに感謝しながら、地元宮崎に少しでも貢献できるよう尽力していきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



専門分野(成人看護学) 講師 坂下 恵美子

宮崎県内の総合病院で臨床経験を積み、大学院を卒業した後、大学の教員になりました。県内外の大学を経て、4月より宮崎県立看護大学の成人看護学領域に勤めさせていただいております。この大学は緑に囲まれ、学生にとって落ち着いて学べる素晴らしい環境が整っていると感じます。私もこれから宮崎の看護を担う学生とともに看護を探求していきたいと考えております。これからどうぞよろしくお願いいたします。



専門基礎分野(看護人間学I) 助教 野末 明希

看護師と保健師の臨床経験後、成人看護学の教育に携わってきました。看護職者として人間のからだのしくみを理解するおもしろさや重要性を強く感じており、4月より専門基礎分野の看護人間学Iに携わっています。花と緑にあふれたキャンパスで、充実した教育カリキュラムのもと、学生の皆さんとともに学ぶことに喜びを感じています。これまでの経験を活かしながら、大切な地元宮崎で、看護の教育・研究・地域貢献として何ができるかを常に考え精進していきたいと思っています。



専門分野(母性看護学) 助教 田丸 喜代子

私はこれまで助産師、保健師、看護師として臨床を経験してきました。3年前に本学の大学院を卒業し、本年度より母性看護学の教員として着任いたしました。県外出身ですが宮崎県の人や気候の温かさに心地よい日々を過ごしております。看護教育に携わるのは初めてですが学生の皆さんと一緒に学びを深めていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



別科助産専攻 助教 蚊口 理恵

5年ぶりに宮崎に戻ってまいりました。卒業生として、本学のよさである「看護とはなにか」を大事しながら、女性中心のケア、助産の奥深さ、助産師の役割など、学生の皆さんと一緒に探求していきたいと思っています。母校で再び仕事できることに感謝し、微力ながら、宮崎県の看護職育成に少しでも貢献できるように教育・研究・地域貢献に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。



専門分野(基礎看護学) 助手 荒武 舞

内科、外科の臨床経験を経て、感染管理認定看護師教育課程修了後は病院内の感染管理に携わってきました。今年度より基礎看護学領域で勤務させていただいております。改めて看護とは何か、学生とともに学びを深めたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。



大学祭

公孫樹祭

2024年5月18日(土)・19日(日)



実行委員長
乙丸 さくら

5月18日(土)と19日(日)に、第27回公孫樹祭を開催しました。2日間で約900人の方が来場されました。

不安だった天気も何とか持ち堪え、実行委員のオープニングアクトから始まった1日目は、各ブース大いに盛り上がりました。2日目はあいにくの雨でしたが、たくさんの方がご来場くださいました！雨にも負けないうらい盛り上がり、楽しんでもらうことができたのではないかと思います。

開催に向けて、新しいことにも挑戦したため手探りなことも多く、1年前から準備を行いました。あっという間の本番でした。来場者が少ないのではないかと不安でしたが、当日はたくさんのお客様の笑顔、楽しそうな様子を見て、公孫樹祭に関わることができて本当に良かったと思いました。

最後になりますが、この公孫樹祭が成功に終わったのは、公孫樹祭に足をお運びくださいました皆様をはじめ、ご協賛いただきました企業様、公孫樹祭の企画・運営にご尽力くださいました関係者の皆様のご協力の賜と心からお礼申し上げます。今回の公孫樹祭で年齢や性別、障がいの有無など関係なしにたくさんの方と出会えたことに感謝し、自分の世界を広げることができた経験をこれからの看護の勉強にも繋げたいと思います。本当にありがとうございました！



卒業生からのメッセージ

OB&OG Message

保健師

地域住民の健康を守るために

小林市役所健康推進課 伊地知 叶恵さん (2022年度卒)

私は令和5年に宮崎県立看護大学を卒業後、保健師として小林市役所に勤務し、今年で2年目になります。現在、成人保健に携わり、主に特定健康診査受診者へ保健指導を行っています。

日々の業務を行う中で、自身の経験不足・知識不足を実感する毎日ですが、自己研鑽を忘れず、そして、周りの先輩方に助けていただきながら小林市民の健康を守るために自身のできることを考え業務に当たっています。

在学生の皆さん、将来のなりたい自分を想像し日々の授業や実習を頑張ってください。そして、一緒に働ける日を楽しみにしています。



助産師

全世代の女性を支えることのできる助産師に

宮崎県立日南病院 長田 恭佳さん (2023年度 別科助産専攻卒)

私は宮崎県立看護大学で4年間看護を学んだ後、別科助産専攻に進学しました。産まれてくる子供とその家族が幸せな家庭を築くため、助産師には女性が『母親になること』をサポートする役割があると考えます。新しい命の誕生に立ち会える喜びを感じながら、女性と家族に寄り添い、共に考え、女性や家族の強みを引き出せる助産師を目指しています。看護大学には、困った時に助けてくれる仲間や先生が沢山いると思います。支えてくれる方への感謝を忘れず、人間性を育むことのできる看護大学で充実した大学生活を送ってください。皆さんといつか働けることを楽しみに、私も日々成長していきます。



看護師

患者に寄り添う感性を磨く

宮崎医療生活協同組合 宮崎生協病院 堀 雅輝さん (2021年度卒)

現在看護師3年目です。急性期、周術期の患者の看護をすることが多いため多忙で勉強勉強、先輩看護師に指導をしていただく毎日です。多忙な中でも患者一人一人に真摯に向き合い、入院という非日常の中で患者に安心して入院生活を送っていただけるよう努めています。

皆さんは看護師になるべく毎日疾患学習や看護理論を学んでいると思います。2年と少しですが看護師として働き常々重要だと思うことは、患者が何を思っているのか、患者・家族に何が必要なのか、そういったところに関心を寄せることができる感性だと思います。疾患の知識も大切ですが学生のうちにしっかりと看護の感性を磨いて、患者にとって安心できる看護師を目指してください。僕もまだまだ未熟なので一緒に頑張りましょう、そしていつかどこかで一緒に働けることを楽しみにしています。





サークル紹介

Circle introduction



多様な性教育サークル BABR(バブル)

～我慢せずに、ありのままの自分で生きてほしい～

BABRとはBirds And Bees（初歩的な性教育）+Rainbow（多様性）を略したもの。

「自分を大切にできることを生活の一部にしてほしい」そんな思いを込めて、自分らしく、自分を思いやれる性教育を目標に活動しています。メンバーは助産師や保健師、性教育に興味のある学生で構成されています。

性自認や生理痛、性病など、「からだところ」、「自分自身」も大切にするために、「性教育って

何だろう??」「自分を大切にするって何だろう?」そういった問いを日々重ねながら自分達で企画実施した食事と生理を整えることをコンセプトにした「プレコンキッチン」や「性教育イベント」への参加だけでなく、大学祭では、「多様な性」の展示と、現在「日本で蔓延している性病」についての展示を行いました。展示だけでなく、本も併せて展示し沢山の方に見ていただくことができました。

今後も、全ての人が、「ありのままの自分らしく生きられる」ように活動を続けていきます。



ボランティアサークルいちょう



こんにちは！ボランティアサークルいちょうです。

私たちボランティアサークルいちょうは、現在2年生6名、3年生6名の計12名で活動しています。看護大がある本郷地区でのボランティアが多いですが、他にも昨年度は県主催のプログラムに参加したりなど、様々な所で活動しています。ボランティアに参加することで、講義では学ぶことのできない、地域の魅力や歴史など様々な学びを得ることができました。また、地域の方々や幅広い年代の方との交流を通して、人とコミュニケーションをとることの楽しさを感じてきました。

これからたくさんのボランティアに参加し、新しいことに挑戦していくとともに、地域に貢献していきたいと思います。

Follow me!

宮崎県立看護大学 公式SNS紹介



Instagram はじめました！

大学の様子や取組をより身近に、より多くの人に知ってもらうために Instagram を開設しました。

日常の一コマや教育活動、研究活動、地域貢献活動等の様子を発信しています。ぜひフォローして投稿をチェックしてください♪



MYZK_KANGODAI



YouTube にも動画をアップしています

YouTube では、キャンパスツアーや学生生活紹介、看護研究・研修センターの紹介動画などをアップしています。宮崎県立看護大学ってどんなところ？学生はどんな生活を送っているの？動画を見て、本学でのキャンパスライフをイメージしてみてください！

動画をみる/



宮崎県立看護大学
応援みやぎ犬



MIYAZAKI PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

宮崎県立看護大学

宮崎県立看護大学 広報誌

看護大から こんにちは Vol.36

広報誌に関するお問い合わせ/ご意見

〒880-0929 宮崎市まなび野3-5-1 宮崎県立看護大学
TEL : 0985-59-7700 / FAX : 0985-59-7771
【URL】<https://www.mpu.ac.jp/> 【E-mail】info@mpu.ac.jp



保健師 ひいくん 助産師 むうちゃん 看護師 かあくん

